参考．２　計画案

①パターンＡ

ⅰ）階数・面積

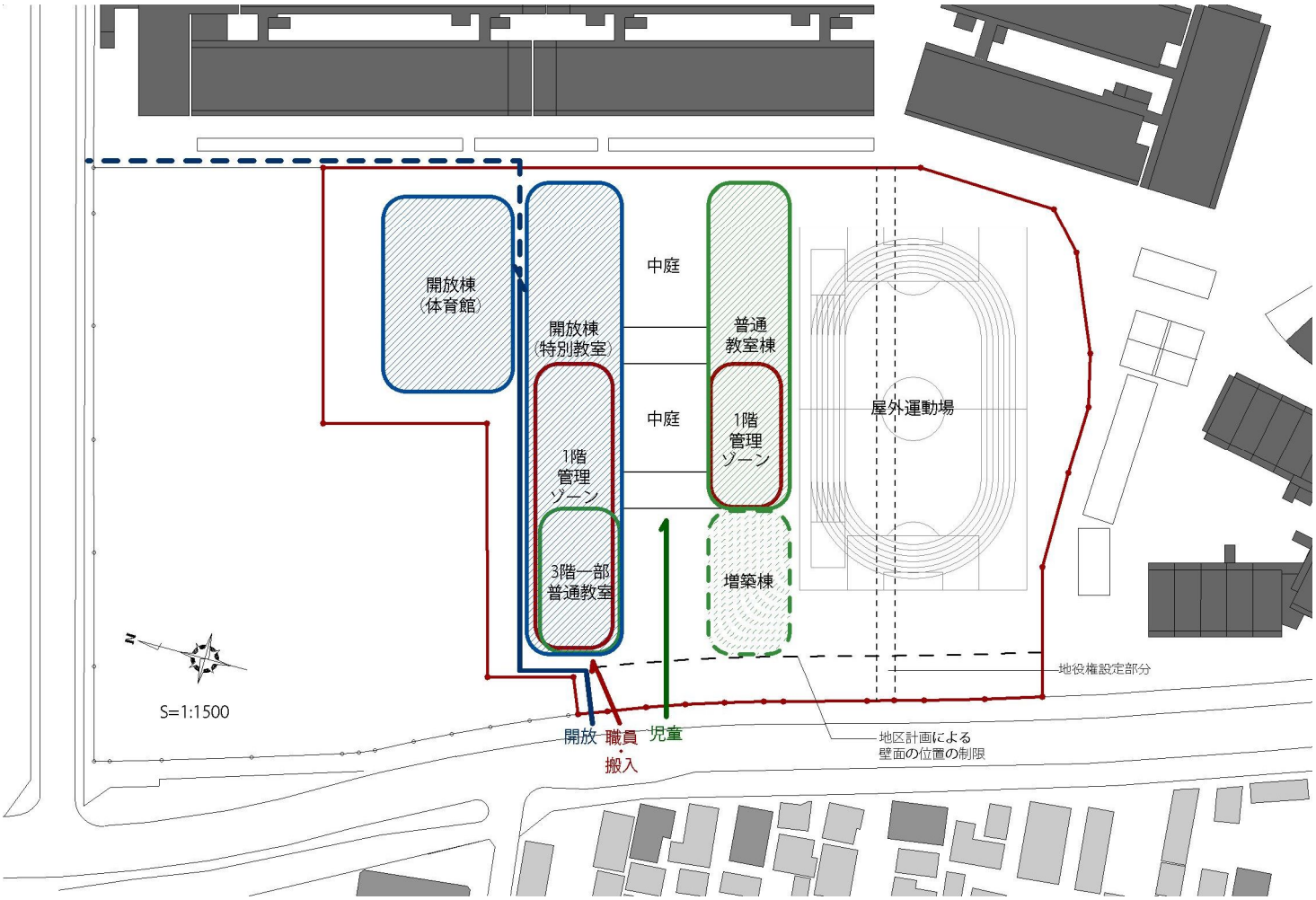
- 階数：地上３階建て主体
- パネル設置可能屋根面積：約 2,200 ㎡
- 屋外運動場面積：約 7,000 ㎡

ⅱ）空間構成・配置の特徴

- 屋外運動場を敷地南側に配置し、校舎は南向きの２棟を平行して配置する。南棟に普通教室、北棟に特別教室を主に配置し（一部混在）、２棟をブリッジで繋ぐ構成とする。
- 普通教室を１～３階に配置する。
- ３階建てを主体とした子どもにとって好ましいスケールとする。
- ２棟の間に屋外運動場とは異なる設えの中庭を設けることが可能となる。
- 体育館は敷地北東部に突き出た敷地に配置する。
- 増築スペースは普通校舎棟の並び、道路側に確保する。

ⅲ）その他

- 体育館を敷地の奥に配置するため、屋外運動場や道路とのアクセスに配慮する。
- 普通教室ブロックと開放施設ブロックが棟単位で分離できていないため、セキュリティラインに配慮する。



②パターンＢ

ⅰ）階数・面積

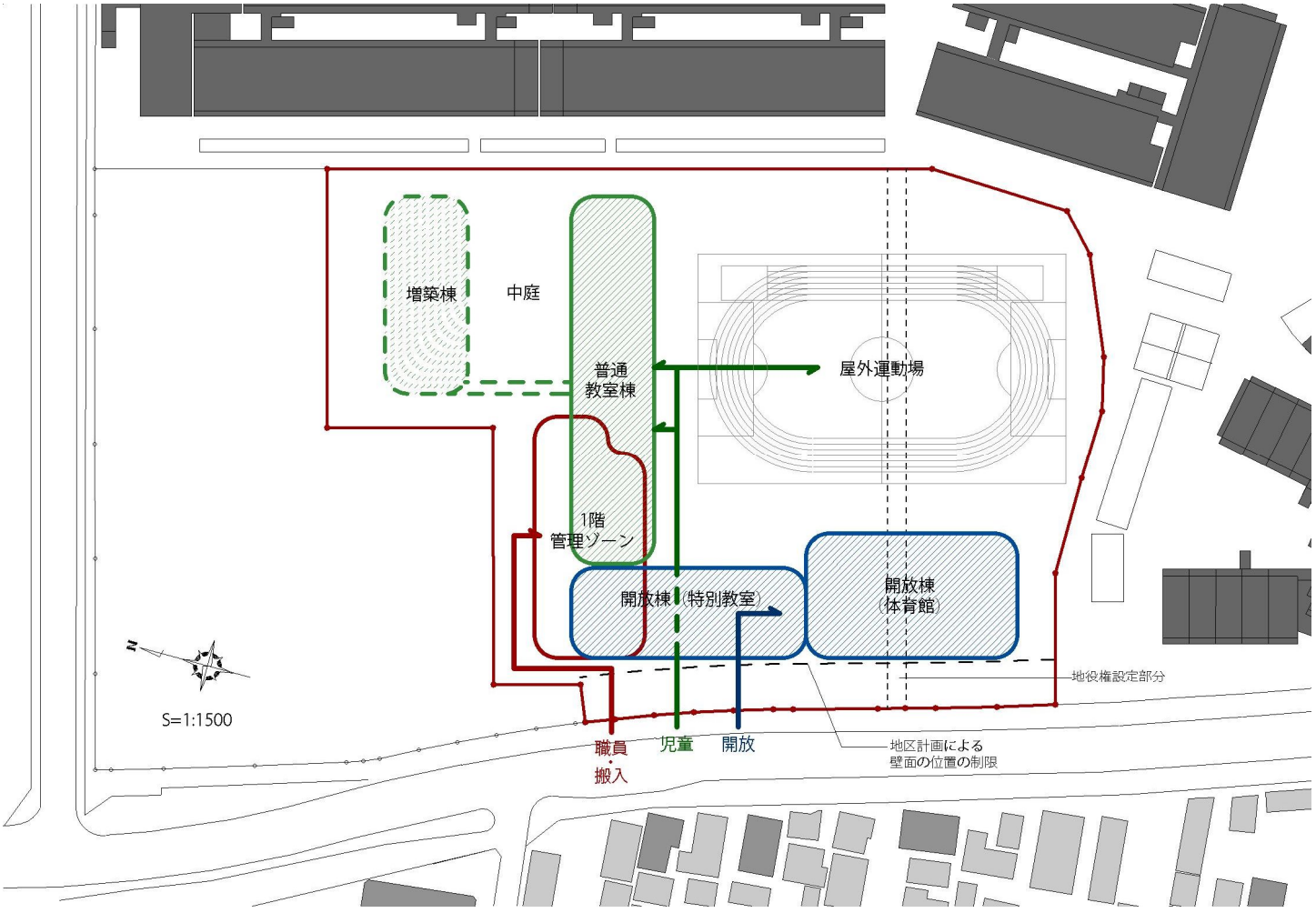
- 階数：地上４階建て主体
- パネル設置可能屋根面積：約 2,000 ㎡
- 屋外運動場面積：約 7,300 ㎡

ⅱ）空間構成・配置の特徴

- 建物をＬ型４階建てとし、屋外運動場を敷地南東側に配置する。
- 普通教室棟は、日当たりの良い屋外運動場北側に南向きで配置（２～４階）する。
- 開放施設棟（特別教室棟・体育館棟）は、道路側からの利便性を考慮し、西側道路沿いに南北軸に配置する。
- 敷地北東部に突き出た不整形な部分に、屋外運動場とは異なった設えの屋外空間の整備が可能となる。将来的には増築スペースとして利用する。

ⅲ）その他

- 増築スペースが敷地奥側にあるため、増築時の学校運営への影響に配慮する。
- 雨水排水施設を埋設している地益権設定部分に建物を建てる計画のため、その移設について地役権者と調整する。



③パターンＣ

ⅰ）階数・面積

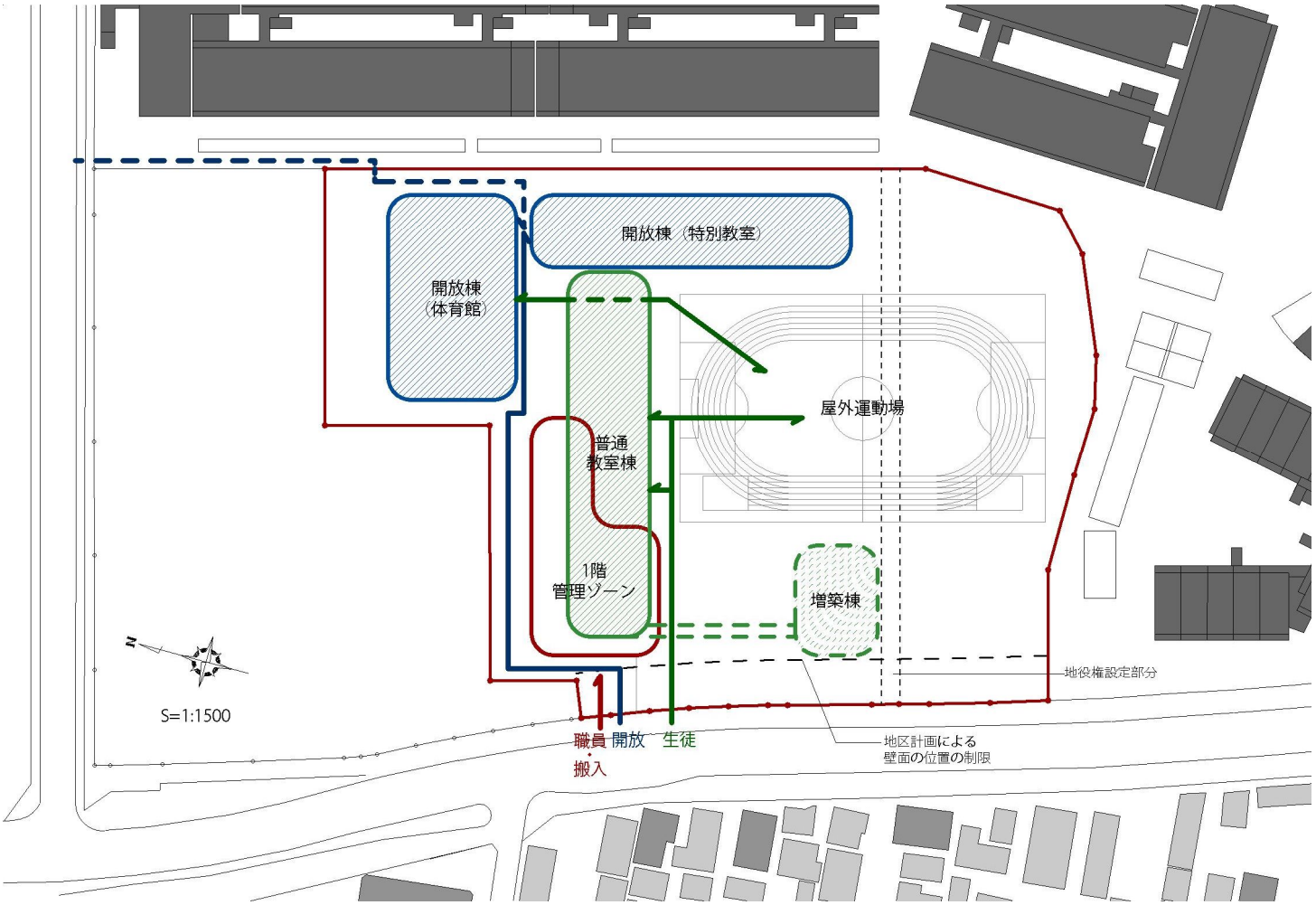
- 階数：地上４階建て主体
- パネル設置可能屋根面積：約 2,000 ㎡
- 屋外運動場面積：約 9,500 ㎡

ⅱ）空間構成・配置の特徴

- 屋外運動場を敷地の南西側に配し、パターンＢとは東西反転した形で建物をＬ型４階建てで配置する。
- 普通教室棟は、日当たりの良い屋外運動場北側に南向きで配置（２～４階）する。
- 開放施設棟（特別教室棟・体育館棟）は、パターンＢとは逆に敷地東の共同住宅側にまとめて配置する。
- 増築スペースは普通教室棟の南、西側道路沿いに確保する。

ⅲ）その他

- 東側の共同住宅への影響に配慮する。
- 体育館を敷地の奥に配置するため、屋外運動場や道路とのアクセスに配慮する。
- 増築スペースが離れた位置に配置されるため、既存校舎とのアクセスに配慮する。



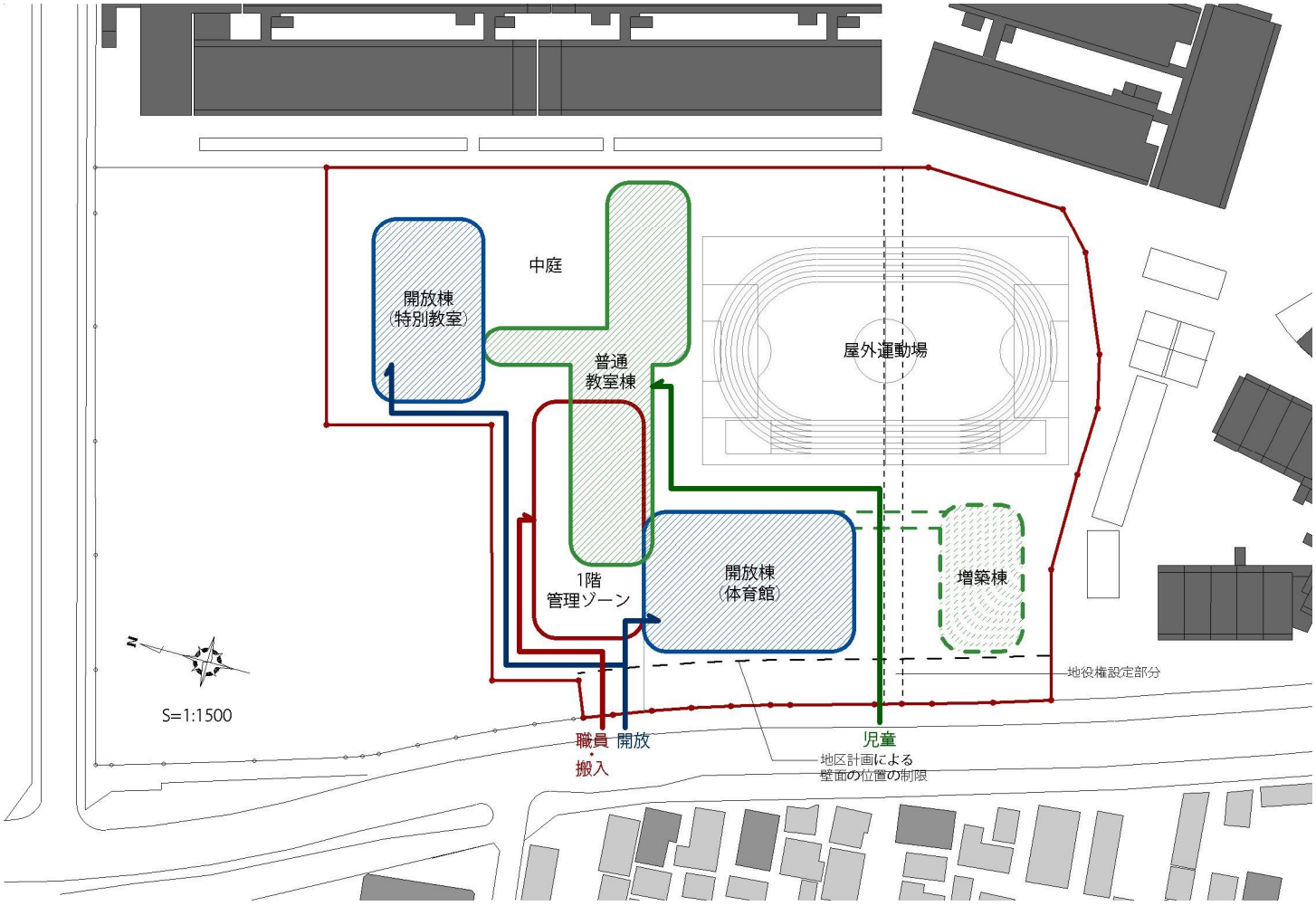
④パターンD

ⅰ）階数・面積

- 階数：地上４階建て主体
- パネル設置可能屋根面積：約 2,100 ㎡
- 屋外運動場面積：約 6,200 ㎡

ⅱ）空間構成・配置の特徴

- 普通教室棟を特別教室棟と体育館の間に配置する。
- 普通教室棟は、日当たりの良い屋外運動場北側に南向きで配置（２～４階）する。
- 体育館は道路側に配置し、特別教室棟を敷地北側に配置する。
- 屋外運動場は敷地南東側に配置する。
- 増築スペースは、体育館を挟んで西側道路沿い南側に確保する。

ⅲ）その他

- 増築スペースが離れた位置に配置されるため、既存校舎とのアクセスに配慮する。
- 屋外運動場面積が他のパターンに比べ小さい。